

月刊 AEHA通信

2020 年2月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

- ◇主な委員会活動等 : 製品安全委員会等
- ◇協会インフォメーション : 今後の行事予定等
- ◇定点観測データ : 家電リサイクル法対象4品目引取実績等
- ◇溜池ボイス : 秘話「うるう年」



■□■ 主な委員会活動等 ■□■

<消費者部関連>

◆製品安全委員会

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動を行っています。傘下に技術法規 WG、リコール対応 WG 等を設置しています。

○第2回 100V コンセント付き電気自動車からの家電製品への給電に於ける課題検討会（1月17日）

1. EVからの供給電源の規格/基準、関連について
2. EVからの供給電源に対する家電製品試験について
3. EV100V コンセント使用時の注意すべき項目のリストアップ

○第3回（経産省）IoT 化等が考えられる電気用品等機器に係る製品安全の確保の在り方に関するワーキンググループ（1月27日）

製品安全委員会より委員を派遣しています。各ユースケースに対するリスクシナリオについて3ステップメソッドでの分類、対策と有効性について検討を行っています。

◆第7回 UD技術委員会（1月10日）

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 家製協ガイド「ICT 機器連携に関するアクセシビリティ配慮事項」の作成について
現在作成中の家製協ガイドラインに関するヒアリングの一環として、1/10 多くの障がい者を雇用されている、大阪(株)ダイキンサンライズ摂津を訪問し、障がい者が働く現場の視察や、「ICT 機器活用に関する困りごと」についてのアンケート及び意見交換会を実施しました。



2. 評価用サンプルアプリの開発について

○第3回（総務省）日本版 VPAT (Voluntary Product Accessibility Template) 案作成作業部会（1月31日）

日本版 VPAT 案の作成に向けた作業部会に参画しています。作業部会では、国内外の関連規格、業界毎の要求事項の比較検討を行い、VPATプロトタイプを作成を行う予定です。

○第2回（経産省）「子どもの特性に基づく人間中心設計に関する国際標準化」委員会（1月27日）

UD 技術委員会より委員を派遣し、子供の特性への配慮を加えた人間工学的プロセスのガイドラインに関する国際標準化を審議しています。

◆消費者啓発委員会

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深めることで、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○第8回UD配慮家電製品 HP 改善 WG（1月22日）

1. トップページ掲載写真について
2. UD配慮製品事例紹介ページの構成について
3. UDの取り組み紹介ビデオの修正案について



<技術部関連>

◆第10回 省エネルギー対策委員会（1月30日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
2. 関連 WG (啓発WG、おすすめ BOOK 編集会議) の活動報告
3. 電子・電気温暖化対策連絡会の報告
4. 2020 年度事業計画および開催日程についての審議
5. ペーパーレス会議実施についての要望および意見交換

○第9回 省エネ家電温暖化防止啓発WG（1月14日）

1. ホームページ「省エネ家電 de スマートライフ」12 月度アクセス状況の確認
2. 次年度版制作に向けた新コンテンツの企画案の詳細審議
3. 2020 年度事業計画および開催日程についての審議
4. ペーパーレス会議実施についての要望および意見交換

<環境部関連>

◆第39回 家電リサイクル委員会（1月28日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 家電リサイクル委員会の運営について

○第4回 2019 年度版年次報告書作成 WG（1月21日）

主な議題は以下のとおりです。

1. データ収集状況について
2. スケジュール等について



<流通部関連>

◆第335回 流通EDI標準化推進委員会（1月29日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事録(案)確認
2. EDI標準化WG・次世代EDI研究WG 合同WGについて
3. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
4. 2020年度事業計画について
5. その他情報交換(流通企業の動向等)

<RKC関連>

◆第4回 情報システム改良サブWG（1月14日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。

1. 参照サーバーリプレースの進捗報告
2. 次期SYRP端末の仕様検討アドホックの開催報告
3. 消費税経過措置関連についての報告
4. その他(SYRP端末更新状況の確認等)

◆第10回 SYサブWG関連（1月14日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。

1. 2019年災害対応自治体からの引取実績の報告
2. 消費税経過措置関係の違算登録状況の報告
3. SYクレーム改善への取組み
4. 2020年4月版合本変更点についての報告
5. 2月以降の消費税経過措置に関する連絡

<認定センター関連>

◆第121回 認定制度委員会（1月23日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。

1. 経過報告（前回委員会～）
 - (1)第38回全国統一試験の推進状況
 - (2)2020年5月1日付資格更新の推進状況
 - (3)その他の主な活動
2. 2020年度事業計画の骨子審議
 - (1)事業構造改革(2012年度～2019年度)の総括と現状認識
 - (2)2020年度事業計画(数値)と予算の考え方
3. その他
 - (1)スマートマスターアンバサダーの契約問題について



◆スマートマスター推進委員会 テキスト2020年版 執筆WG（1月16日、31日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。

1. 事務局報告:最近の活動レビュー
2. テキスト執筆検討
各章の執筆骨子について審議を行いました。

◆第10回 情報発信・教育部会（1月20日）

最近の家電関連知識・情報をレビューするとともに、その活用方法について審議しました。

1. 第1部
近況報告 第38回試験、スマートマスターのテキスト執筆など
2. 第2部
1月度収集情報報告
3. 第3部
マイスタディ講座 掲載記事の内容について

■□■協会インフォメーション■□■

◆今後の行事予定

年	月 日	時 間	行 事	場 所	主な議題等
2020	2月21日(金)	15:00～17:00	第30回運営委員会	家製協 1・2会議室	理事会、評議員会事前説明
	3月 5日(木)	15:00～17:00	第16回理事会	家製協 1・2会議室	事業計画、収支予算等
	3月16日(月)	15:00～16:30	第17回評議員会	家製協 1・2会議室	報告事項等
	5月15日(金)	15:00～17:00	第31回運営委員会	家製協 1・2会議室	理事会、評議員会事前説明
	5月27日(水)	—	理事会(書面表決)	書面表決	決算・事業報告等
	6月12日(金)	15:00～16:30	第18回評議員会	家製協 1・2会議室	決算・事業報告、役員・評議員選任等
	6月18日(木)	16:00～17:15	第17回理事会	ザ・キャピトルホテル東急	代表理事(理事長等)選定
	6月18日(木)	17:30～19:00	第4回家電産業交流会	ザ・キャピトルホテル東急	

■□■ 定点観測データ ■□■

◆家電リサイクル法対象4品目引取実績（1月度）

2020年1月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

(台数:千台)

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	127	81%	3,292	107%
2.テレビ 計	283	108%	2,846	115%
① ブラウン管式	71	91%	840	96%
② 液晶式・プラズマ式	212	116%	2,006	125%
3.冷蔵庫・冷凍庫	218	97%	3,140	108%
4.洗濯機・衣類乾燥機	322	96%	3,615	110%
合 計	950	97%	12,893	110%



(うち指定法人)

(台数:千台)

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	1	91%	32	103%
2.テレビ 計	17	153%	161	150%
① ブラウン管式	6	147%	66	138%
② 液晶式・プラズマ式	11	156%	95	160%
3.冷蔵庫・冷凍庫	16	89%	245	103%
4.洗濯機・衣類乾燥機	6	93%	73	108%
合 計	40	109%	512	115%

◆家電製品 PL センター相談等受付件数実績（1月）

2020 年1月相談等受付件数は 174 件(累計 1,686 件)です。

詳細は、家電製品 PL センターホームページのインフォメーションを参照願います。

<https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/index.html>

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2019 年 11 月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。

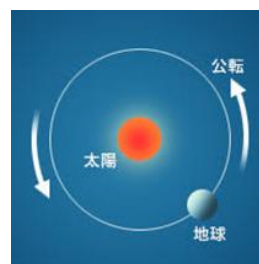
<https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasui201911.pdf>

溜池ボイス

◆秘話「うるう年」

今年、2020 年はうるう年です。つまり、2月が例年より1日長くなり、1年が 366 日となる年ですが、今日はこの「うるう年」について、少し深掘りしてみましょう。

現在一般に使われているカレンダーの「太陽暦」では、1年は 365 日とされています。これは地球が太陽のまわりを1周するのにかかる日数と言われますが、厳密には1年につき約6時間足りません。そのため4年経つと、6時間×4年で 24 時間、つまり地球が4年前にいた位置に戻るためには、ちょうど1日足りなくなる計算です。そこで、太陽暦を使い始めたローマでは、紀元前1世紀に4年毎に1年の日数を1日増やして調整したということです。



とまあ、ここまではご存じだと思いますが、これには続きがあるのです。後年科学の進化により1年のズレは6時間ではなく、5時間 49 分であることが分かりました。つまり、ローマ方式では4年で 44 分も増やし過ぎになってしまうのです。そのため追加の対策が必要となり、16 世紀になって「西暦の年号が4で割り切れても 100 で割り切れる」年はうるう年としないこと、さらに「100 で割り切れても 400 で割り切れる」年はうるう年とすることで、400 年間で+80 分の誤差にまで調整することができました。非常にややこしいシステムですが、2020 年を生きる我々には、あまり縁がないかもしれませんね。



では何故、うるう年は2月に調整するのでしょうか。それは「2月が一番短い月だから」ではありません。古代ローマの1年は3月から始まったといい、そのため年末の2月に調整したということです。まるで「年末調整」の起源みたいですね。「ローマは1日にして成らず」です。

◆◇◆◇◆ ————— ◆◇◆◇◆
本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。

記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。

【配信停止方法】

本メールの配信の停止をご希望される方は、会社(団体等)名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を本メールの返信にてご連絡ください。



〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-7-1 霞が関東急ビル 5 階 代表 tel.03-6741-5600